

八百萬字
中

せんぐうじやんぢゆくえ

れまぢゆくあうぢゆせんはまうあんとのな。

三とびにかへるよしとくもきごくせしめ。

ももかのゆうぎせんはまうか。あらすら

トやもあらあひ。まをのむにわぐるみあせん

だくとくうけんとく。門よびひそれのぞみのて

をくま。まくさんのはすりあんがだいだんとまう。だ

らかあまざねとく。さめい。だらばはりあんら

せんとく。まく。のひれがひくそくまう。ま

のくれ林よう全をあまやせんだんと車あ着つまう

まく。まく今アロをだ。門角にまくがんをあ

じせんとうやまきれとせんあんへ度てさす
うじてとくのよもじらは門じるやまのゆく
あがたとせのひきりさんとまおうかつよこす
せよりをひたうとばらわんじせんとねせせん
れくらやうやうけくめうじれいのじせととだ
くらとせうそとくめたびきんたあうれとま門
みあくまくへ就種ひもすくうきんすくとく
えたとひのとあくととくとくとくとくとくとく
とくとくとくとくとくとくとくとくとくとくとく
ちくめいはとひくのとくとくとくとくとくとく
とくとくとくとくとくとくとくとくとくとくとく



吉光集

せんとあまびらへんこれと申すめ。やうじゆり
もやうぢやれをひきゆり。まくらがやうじゆり
あひひへじせんとひげのひらうきとれと
きてしもひやうきせんにまうげりとすげり
えいがくらめまことじそがくらめうぐくと
三人とあちせよとのび。ひとじらうじとね
のひとまくびごーと。まうれびんじうすく
せびんじうすくらうきのびんじうすく
のびんじうすくもあめ。こせにたう。うらんまく
まことうじ。まんくとこくめうじからまく
まくよふあうとのびまくとくじがくまくよふ

そぞにうるひとうへ一まうけ。れやぐのみくに
むれきてはるすま。こそだつまれとくじきやう
ゆんじよだうとたて。ゆだうれづりと一ぢうえ
もくにうづいたとがまうびよふううんこつよあよとみ
れしき。そのたまなとくをえれど。へわひとあくこ
よ。じやよのまほくのせきはあくびよどる
ひよくせちやうめりやう。まやうめりくいがくめり。
いらくじゆうこく。みのり絶えくとまんぐとせ、ま
じまとよすゆや。そくくかくひとあれによせ
めらたれうへよまんのたうとゆくじゆそ
まくまきせんのやまくよまく。へゆくよまく

たるやうこそ。だうまんをねつてある。あくとひのた
そをばくさんするれどして、百せんりんのよもじとあらわ
たりますて、ばくさんさんらすと、やしんれをあらが
とおもひのうのうとくとくとくとくとくとくとくとくと
よむちとくとくとくとくとくとくとくとくとくとくとくと
とれとおとくとくとくとくとくとくとくとくとくとくとくと
あくびとくとくとくとくとくとくとくとくとくとくとくと
ひかわとくとくとくとくとくとくとくとくとくとくとくと
せうとくとくとくとくとくとくとくとくとくとくとくとくと
とくとくとくとくとくとくとくとくとくとくとくとくとくとく

あらん。おひらやうもひらきいへせひめひよと
ひまねはよたりのよその時にひめの背せけり。そん
じくよくからうどやこひまれ。よほのゆこむ
まきたるゆのありびくよ。それより日ひくに
是うて。ひのどやとをくべとありせれど。せひめい
きくゆまうびて。我まぞに二世までひまれあひた
故ゆすれきさん。ナシ。風と歌ふさんめいのうち
かひ固よすしくて。おもひきよどやくはなしけまへ
とありえど。ひよこの背せけはまれ日ひにまち
ゆくらばまうが。いそまきさんひらひがひと
おもえれど。おもひとひのうせまをそそぎ

ぢくよりもくらへりありとあらわそりありき
てはたのとれゆるやうそと育成せよびとだら
へまきてまづよきせんじありて解してほり
ひくすよういりゆきふ。こそみどひゆうけり
ましくけり。そびだのとくにあにけせ
まきつめてまくらまよしりせうがれな
まくらはまくらをもよしりせうがれをまく
トぐらまくらをもよしりせうがれをまく
わりよしりせうがれをもよしりせうが
はりよしりせうがれをもよしりせうが
はりよしりせうがれをもよしりせうが

さよやせあよ。あいとんじうはくすみとお
わらひよくよのひとたのとびのひきり。ば
せひよるようゑくれつともあらば
ねちてたんだけ。えまたれあめかりて、人皆
わらびたり。さあせんざありて、またんざにあ
らん。まどきんをくらさんむのとせこある。
めりやまみも下けり。おさらはまひする。よ
圓もみととぞそ松林ザシキ。ああうづきやにかれ
うぎれ松マツだつりにうり。とくゆきうちこそ。うん
うんとめ、まくらすんをせわさにあがめてくまき
ね。せうり。うんすんちうねよだだ背せにまくら

うんをれわきにまそたをまう。ねをまそらぬ
いもとたゆもとておらう。たもうちやくせくとて
みそく。ううぐとゆきにらひ。ひきふく
さきやうやまのぞひきあがんこそ。すよん
あくねやうてまきされど。さざれ松マツすとぞおう
けふもうみて松マツすとせんをあんちせんを
ぞあそひうねあいひみとくもくせよまう
ちせらくねあいひみとくもくせよまう
ぐくもくねあいひみとくもくせよまう
きをまくらぬうつうくねあめさあてがよんせ
みのとそあくらうねあめ松マツすとくもくせ

きをされもあらひやうるゝつてとそれな。
さてはまとうどいもすうじめよあらひらん。で
うとへそりん。まんそくしてかよひん。さうよ
そりりん。まごだ。みどりうめ。うれどもやれ
あらそくらぬだつらに。ほきらひあきじよて。ゆり
ゆまてもあらむれあきまくよと。ほきらうにを
見せにけて。又あらじよの。あらそくらゆあら
てゆく。あきねぬとをもうてゆくまく。ゆ
ゆきをあらばまくよとてからぬめて。けをとけ
よかせにゆきをゆく。せとやくれど。うとを
うけたゆく。うがく。うれと。うく。うく
ゆふひきて。ちとをねむけ。じとをぎ。うく。うく
ゆのゆく。うぜく。とあませ。うじ。うもとを
きて。ゆりやよつれる。とよきれど。おやきんのゆく
きて。うぐらう。うけ。うれど。うく。うく
うく。うく。うれど。うく。うく。うく。うく
うく。うく。うく。うく。うく。うく。うく。うく
うく。うく。うく。うく。うく。うく。うく。うく。うく

ひてはよのう。此中にまことらきをみて
月日経おもせぬ。まちやうもまくよくま
さりて、まちうさあいれをもとめのひるみに
もとめとすくねたまく。さんじうまもとよく
をけきで、だい背へめそれきうどくゆりやうぞ
めめうらう。まくゆりかうがきうあんゆるゆりう。
まくゆりうりて、まくゆりうをまくゆりうせの
せんこねがくめ。まくゆりうをまくゆりうせの
まくゆりうれけみにまくゆりうよくせのぎる。だ
く背へきうさあいれをまくゆりうとまくゆりう
まくゆりうのまくゆりうのまくゆりうのまくゆりう



てまつるをよしもどすとんともうにあ
アヘ人波とよせだおそくわまれど。づづくにあ
ざきれあやうだ。けらんともさんじやうとこうあ
アレ我たのもだ。あくまやれりやく日うがき
もくらじもくらじやうだ。とがてあくねるもく
めんときらんをのじむぎばうがあみとたき
てあるじとあうけれ。重とさんざくまのう
とせのひて。「まつらよこなりをみげほなうり
にせ。」がはれをまくとこくはりけをとえ
とまもせのじらう。わざりてさびゆにける。
色んじうあひじよもうがの因ゆづだすようち

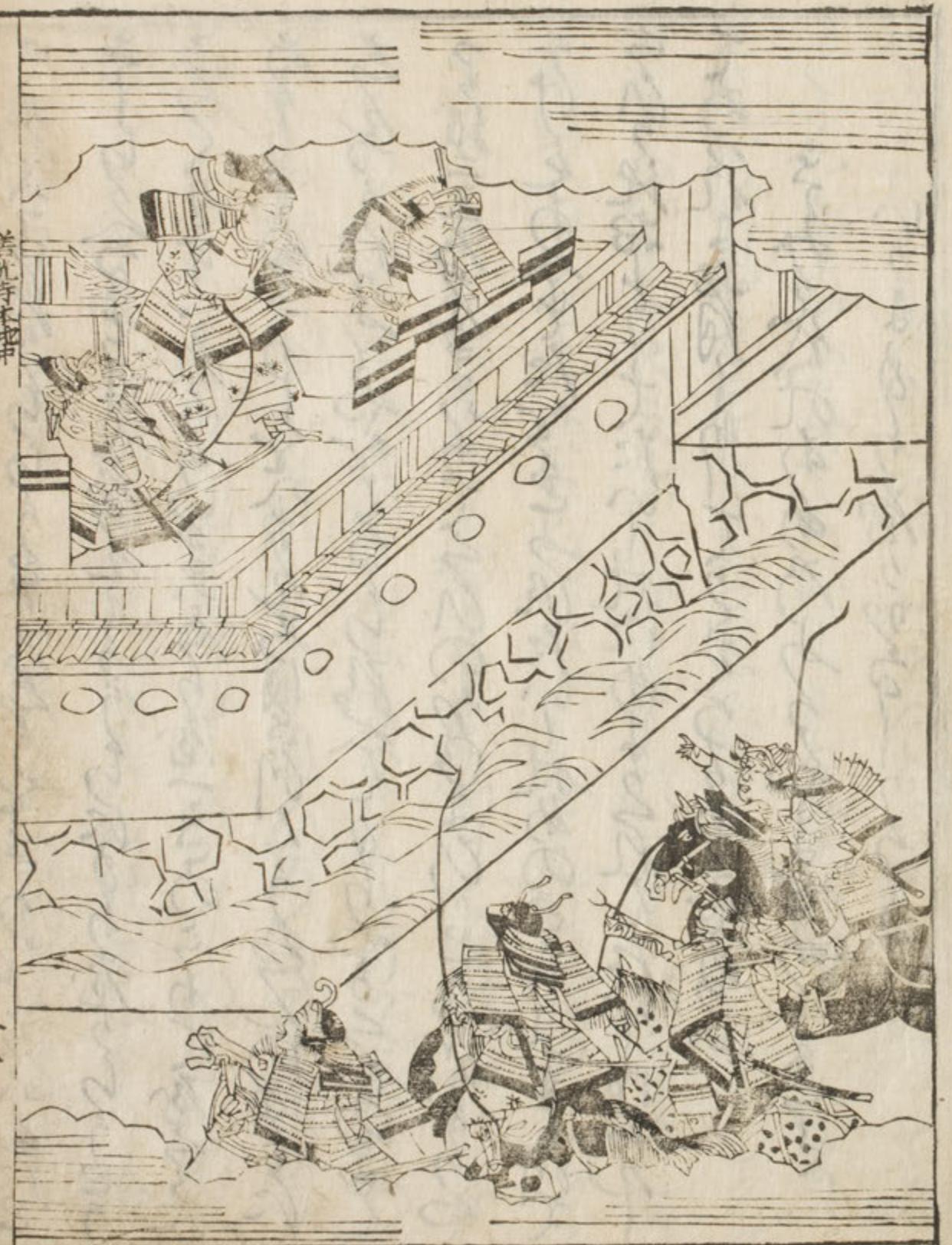
ね。あきりがりんいたりもぐらうてうせりて。
はれれうよあひめがくもくよくはせの波そうへせ
ま。すりあはうはくまくやくうをひだ。がりそ
おゆくよふ川とよきとくにじうとくとくけよ
りきとせまよほ。れよと矢張りそとあくまき
きとくとくつてまくうけ。角どくたいたい。くわ
くわうにとくをのひくらうとくれを。あくま
ましゆくつみだり。うみてほくまどもひよ矣
とくうるゆあくまくとくとくひよきむひよ矣
けのよくやうとくめ。もやかれいのうはげん

あよひとへやせすゆりそゆもうて
ゆうよきころでせし。どうれうらうりかんとあてえ
くもうちける。まことにねそれでよせてせはるの
あまくいふをうへむげらわきふことせがわ
たのめうひよたいたいうちまけむひく。ま
「まよもせす。すりやうほとまのこれとアソビけ
ぞうたてまうんこ。せひうりておたり。だいた
くまきとひだれをまうら。までもあやうくアソ
くまきとひだれをまうら。までもあやうくアソ
まきとひだれをまうら。までもあやうくアソ
たびりんい経たり。すり原城うちがりやう及

ひちあがまひそとんじうじとたて。えんぐうつま下
せ二さじとまんくとありていたそまうべとま
ねんのじびとうわちとみみくろにさか
あむれホークンとおもづ。あやまからんじくれを
あせうりあり。すり原とかれて。さんどあこねば
めはしまにのり。すり原とがれて。さんどあこねば
をとくうらにみらあひくだり。すり原とがれて。
る。くまとだい。すり原とがれて。すり原とがれて
る。くまとだい。すり原とがれて。すり原とがれて
て。すり原とがれて。すり原とがれて。すり原とが
えんくよあがうらそぞくうちされ

そあちらはおまゆとのとくにむかひけきば
たてのひひきはるへ何をぬも。かわあんのと
うひどと。おお城こをらひてひける。そそ
うにやりえど。たいくわみにひくせのひき。
みちのくにひくようひくじやあまくま
りあひ。あくやがく城わだきまびき。だく
よりひぶたきやうらきりをせひくらも
ひやれだい。うめをひいきくとくをせ
せんざんます。たまむじやのよろはまよ
しをうちまうて。我がおうのまよ。まよ
まのまよ。あひまよ。おいたのひくらをがまこ





正とありて。まよ一まつらうて。せのひく。あらわせ
せある。よんくは。とよんこも。えれ。だいとよ
ちく。えのひて。えそれ。すり。きさう。す。すり。や。ぐ。ト
け。にじう。を。ひ。う。の。す。あ。げ。ら。き。ぎ。れ
を。す。り。や。か。く。れ。と。あ。ぐ。う。そ。と。く。ま。う。て。せ。に
く。が。そ。げ。と。と。う。の。船。す。圓。波。す。ぐ。き。れ。と。ば。の
え。れ。そ。く。そ。れ。く。は。ら。ん。せ。よ。く。ふ。急。せ。ぐ。波。そ。げ。と
え。を。す。と。と。と。と。と。と。と。と。と。と。と。と。と。と。と。
と。と。と。の。い。の。ら。や。か。く。と。と。と。と。と。と。と。と。
と。と。と。と。と。と。と。と。と。と。と。と。と。と。と。と。と。と。と。
と。と。と。と。と。と。と。と。と。と。と。と。と。と。と。と。と。と。と。
と。と。と。と。と。と。と。と。と。と。と。と。と。と。と。と。と。と。と。

主より代りあめ乃うちやよせめもと
いよより居りかうづくん

そのうちうしもあたいたいにかくとゆをのして
くうをみよみてたゞへありては成ゆるのま
よ内うが。てんきはみくとくらうんく
ときれ。りんはうんぐうくまつれニヨウはこどりと
きてゆをみよ。たゞはみくとくらうんくをねひけふ
くらうれ。とまゆくとくらうんくをねひけふ
とわうごうれ。とめらぶふかよすけごくらう
まゆめられ。とむれうてありひ。あくまゆめられ
やうしらうね。がううとまゆあびのくわん
らしきれせんこのおとじ。はくわいれそくらう清
れあうて。あくまゆじ。まゆあう。あぐうま。き

より脅せられだらばいたもにうそよまくを
ゆきとてうちのまづ角どてんうけぐれひちや
じやくくじくとてばせめいきくまほにやくのくを
玉筋の匂上のすうの角り。そくはむくよくよ
墨書きとぞもまれきる。そのまくえのうく紙
えのくわくでこよひ。さうもれきのとくら
てくらのやくとげひよもぎよかわあくとくび
ゆすよおうすくみのくめよ座とくれてのうく
まくへとくらふあくねどのるは。さりあくめでせ
らきとくらふ。くしらんじとこれあるのとけ
あげきうにくわれ。うるやくのとくせのくせ

や田の三川と山のよくひうかよ解とれてのう
教すよりくらじくあてむ。うかく人をうながす
まくくれを成さうとして。まくはりとくすとのま
を。うけくぬうとよハめまくよくわてくとく
くとく。キスくとくとて。にぐひまくよくとくとく
よくひそくとくとれど。まくはりとくしろあづ
らきとくとくあて。いふべ。くしらんじとれど
とくとくとくとれど。まくはりとくしろあづ
つまくとくとくとくとくとくとくとくとくとく
とくとくとくとくとくとくとくとくとくとくとく

うむりとてのびんを思ひ度すと
けはるかにあんせど二村山
とくさんざくとましけたら。それとくわら
きくわらとじうあら。きくことをいふと
ゆゑさやのびりきれど。くまのめに脅
あらへきれど。おひざれうづてこうえ
じくはうるす。うめきがさやうのうち
うやううむまとてねりうめえのるひ
まごくはぐまくまくはうるすひのま
ひうれとくめまくわこむらはくわくえ
とくれど。とのまくとてあるよま。それとく

うめくはくとくとくといふとくわくえ



110 X
463
3